

事業所名

こども支援ルーム ここにこ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2024 年

12 月

1 日

法人（事業所）理念		こども達にとって楽しく、保護者にとって安心できる場所になれるよう。				「今」も「未来」も楽しく・安心をして過ごしていけるように。	
支援方針		◇こどもの気持ちに寄り添い、時には「どうすれば良いか」を一緒に考え、たくさんの「できた（自信）」とたくさんの「できる（挑戦）」の気持ちを積み重ねていけることで現在・未来が自分らしく楽しい毎日を送れるように。 ◇こどもたちの笑顔こそが、保護者の安心に繋がると考えています。保護者の気持ちに寄り添い、成長を一緒に見守り・考え・喜び関係になれるように。					
営業時間		8 時	30 分	17 時	30 分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○体調管理 : 体温測定や活動中の観察を行い、体調の変化に早期に気づきます。 ○身辺自立 : 着替えや食事動作・排泄などの身辺自立が出来るように、一人一人の段階に応じた支援を行います。 ○時間に応じた切り替え : 一人一人に応じた切り替え方を見つけたり、本人と相談をしながら支援を行います。					
	運動・感覚	○粗大運動 : サーキットあそびや長縄跳びなど、様々な活動を通して体の使い方を知る経験をしませす。 ○微細運動 : 製作活動や運筆活動などを通して、指先の使い方や道具の使い方を知り取り組めるよう支援をします。 ○感触 : 小麦粉粘土や寒天あそびなどの感触あそびを通して、様々な感触を知り楽しめるよう活動を行います。					
	認知・行動	○予定の確認 : 見やすい場所に予定表を置き、はじまりの会で予定を伝えることで、見通しを持って過ごせるようにします。 ○話を聞き行動に移す : 話を端的に分かりやすく伝え、また活動の内容等に応じて見本の提示の方法を変えるなどの支援を行います。 ○感情のコントロール : 思いが通らず怒ってしまう時は、気持ちを受け止めながら言葉にする方法を知れるよう関わります。 : 気持ちを落ち着けやすい方法や場所を一緒に見つけていけるよう支援を行います。					
	言語 コミュニケーション	○年齢に応じた質問等を行うことで、言葉の表出や気持ちの伝達に繋がるように支援を行います。 ○お友達との関わり方やコミュニケーションの取り方を知るれるよう、一人一人に応じた関わりを持ちます。 ○困った時には手助けを求められるように、一人一人に応じた方法や伝え方を理解して支援を行います。					
	人間関係 社会性	○大人との関り : 楽しい時間を共有することで、保育者との信頼関係を深めていきます。 ○お友達との関り : お友達に関心を持ち、一緒に過ごしたり遊んだりできるように一人一人の段階に応じて環境を作ります。 : 様々な場面を通して自分の気持ちを知り、相手の気持ちを知れるよう支援を行います。 ○ルール : 活動を通して順番を待ったり簡単なルールを知り、楽しむ経験が出来るよう支援を行います。					
家族支援	○ご利用時の様子を保護者と共有することで、よりより支援に繋がるよう心掛けています。 ○家庭生活の共有や発達に関する相談・助言を行います。 ○きょうだい児に関する相談・助言を行います。 ○ご希望時や必要時は、定期的面談以外にもお話が出来る時間を設けています。				移行支援	○必要に応じて並行利用をしている園への訪問や事業所での様子を見ていただき、こどもとの関りについて具体的な助言をさせていただきます。 よりよい支援が出来るように園や事業所での関わり方の共有を行います。 ○必要なタイミングでの生活環境の提案と情報共有を行います。 ○必要時は移行先の幼稚園や小学校への情報提供を行います。	
地域支援・地域連携	○児童発達支援センターとの連携を行います。 ○相談支援事業所と利用状況などの共有を行い支援の連携を行います。 ○ボランティアの受け入れを行います。 ○行事を通じて地域の方との交流を持ちます。				職員の質の向上	○活動や支援へ振り返りや助言 ○事業所内研修・外部研修（虐待防止・身体拘束等の研修・キャリアアップ研修・専門研修など）への参加 ○児童発達センターへの実習	
主な行事等	○消防車見学（不定期） ○誕生日会 ○水あそび（7・8月） ○ハロウィンあそび（10月） ○クリスマスあそび（12月） ○お楽しみクッキング（3月・年長）						